



2020年10月16日

各位

会社名 ファーストコーポレーション株式会社
代表者 代表取締役社長 中村 利秋
(コード番号 1430 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 野村 富男
(TEL 03-5347-9103)

建築構造物に係る「新構造システム」に関する 特許及び実用新案の共同出願のお知らせ

当社は、学校法人東京理科大学（所在地：東京都新宿区神楽坂一丁目3番地、理事長：本山 和夫、以下「東京理科大学」という。）の認定ベンチャー企業である株式会社サイエンス構造（所在地：東京都新宿区神楽坂一丁目3番地、代表取締役：海藤 靖子、以下「サイエンス構造」という。）と、建築構造物の「新構造システム」に関する特許及び実用新案を共同出願いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本特許及び実用新案出願の経緯

当社は、より優れた換気・環境・採光・安全・安心な居住環境を求め、東京理科大学の協力を得て、「超高層タワー免震の新構造システム」、「新構造システムの構造計算」及び「建築構造設計に関する実験及び解析」について、サイエンス構造と共同研究を行ってまいりましたが、このたび当社は、新たな免震集合住宅の工法として『ジーナス（ZENAS）工法』を開発いたしました。

現在の鉄筋コンクリート構造の一般的な集合住宅や超高層集合住宅におきましては、ワイドスパンとして認識されるのは一般的に7メートル以上であります。『ジーナス（ZENAS）工法』におきましては、柱間をワイドスパン或いはそれ以上の大スパン（例：12メートル～14メートル、及びそれを接続する24メートル～）とした架構構造による基準構造ブロックを接続した構造とすることにより、敷地形状や方位に応じた換気・環境・採光に優れた安全・安心な免震集合住宅を、容易かつバリエーション豊富に設計することが可能となります。

また、『ジーナス（ZENAS）工法』は、従来の工法と比較してコンクリート型枠の使用量を削減できるため、地球環境にも優しい工法となっております。

これにより、コストマネジメントに優れた施工の実現が期待できると考え、このたび、それぞれの研究成果を一つにまとめ、「コストパフォーマンスや安全性向上を目指した建築構造物に関する発明」の特許及び本発明に基づき考案された実用新案を共同出願いたしました。

なお、本件につきましては、東京理科大学の協力を得て、実物大の建物の一部を再現のうえ、1年程度の期間にて『ジーナス（ZENAS）工法』の実証実験を行う予定としております。

2. 今後の見通し

本出願につきましては、今後の当社の施工に非常に有益なものであります。現時点では2021年5月期の業績に与える影響は軽微であります。

本件に関するお問い合わせ窓口
ファーストコーポレーション株式会社
企画設計部 黒川 03-5347-9103（代表）

以上